

たにがしらっこだより 6号 R2.7.3

発行者 牛谷まゆみ

緊急事態宣言が解除されて1ヶ月以上がたちます。宮崎県ではコロナウイルス感染者は現在のところ4月以来出ていませんが、東京都では毎日のように感染者が報告されています。県をまたぐ移動も全面解除となりましたので、これからさらに警戒していかないといけません。引き続き3密を避け

◎雨の日も楽しく その2

もう少しすると梅雨も明けのでしょうか？早くあけてほしいですが、子ども達はそんなことはお構いなしで遊んでいます。以前は少しでも降り出すと、「雨が降ってきた〜」すぐ室内に入っていました。今では少々の雨では動じることもなく、「これくらいなら大丈夫」とそのまま遊んでいる子、遊具の下に潜り込んで雨宿りしている子、自分の傘を持ちだしてさし始める子・・・と様々です。自分たちで考えて行動したり、判断できる子ども達が増えてきていることが伺えます。

園庭の水たまりはすぐにあそびの場となります。泥の感触を全身で感じることで、五感が発達します。小さい時に思う存分触れた子どもはある程度年齢を重ねると徐々にその遊びが減ってきます。逆に遊びの足りなかった子ども達は、「もうこの年齢ではしないでしょ」と思われる時期に羽目を外して行います。思う存分遊び込むことで、子ども達も開放感を味わうことができます。

◎戦うシーンの多いテレビやゲームについて

子ども達の遊びを見ていると、ごっこ遊びをする姿が多く見られます。ケーキ屋さんごっこやジュース屋さんごっこ等役割を決めて、会話を楽しむのは良いのですが、剣を振り回して戦う姿がよく見られます。ごっこ遊びなのについ本当に蹴ってしまったり、叩いてしまったりすることがあります。もちろん叩かれたり、けられたりする事は痛く、トラブルの原因にもなります。テレビで見る戦隊ものは、戦いのシーンだけが強く印象に残ってしまうようです。園ではテレビを見ることもありません。家庭でも少しずつテレビを見る時間を減らす、時間を決めて見せる、戦うシーンの多いものは避けるなど意識してみると良いと思います。特に「えい！」「やー」と戦うような行為が多くなったら要注意です。持ち物もキャラクターの物は減らしていきましょう。

◎裸足であそぶ

園では、登園したら裸足で遊ぶように子ども達に声かけしています。身体は皮膚呼吸をしています。靴下や靴を履くことで皮膚呼吸を妨げています。足裏は雑菌も多いので、においも気になりますね。裸足になる事で雑菌の繁殖を妨げるとともに、足裏を刺激することで脳も活性化されます。手でも色々な感触を味わいますが、足裏でも、ぬるぬる、べたべた、ざらざら、様々な感触を感じながら遊んでほしいと思います。

ある朝のできごと・・・朝外に出ると、子ども達が虫取り網を持ってチョウを追いかけていました。その追いかけ方の速さには驚きです。私が小さい頃捕まえてくたなかつたチョウが園庭を飛んでいました。(なんという名前なのかわかりませんが…)それをさっと捕まえていました。また、「にじいろチョウがいた」と追いかけていて、2匹同時に捕まえていました。「にじいろチョウ？そんなチョウがいるんだ」と思っていたところ、「あおすじあげはだよ」と教えてくれました。毎日のドキュメンテーションで子ども達が良く図鑑を見ている写真が出てきます。「なるほど」と納得する場面でした。

*谷頭こども園ホームページの保護者ログインパスワードは玄関に貼ってあります。